

初秋のお屋敷めぐりで、
プチ時間旅行を楽しもう!

4館スタンプラリー

お屋敷4館に入館してスタンプを集めよう!
全て集めた方に先着でプレゼントがあります!
※オリジナルコットンバッグもしくは各館のピンバッジ
4種類の中からいずれか一点をお選びいただけます。
各プレゼントはなくなり次第順次終了です。



名古屋 お屋敷めぐり



開催期間 令和元年 9月6日(金)~9月23日(月・祝) ※景品がなくなり次第終了
休館日 各館とも 月曜日 (祝日の場合は翌平日)
主催: 文化のみち二葉館 文化のみち榎木館 旧豊田佐助邸 揚輝荘

● 文化のみち二葉館 [名古屋市旧川上貞奴邸]



ひととき目立つオレンジ色の洋風屋根、ステンドグラスの光がこぼれる大広間、そして落ち着いた伝統的な和室—東洋と西洋の文化が溶け合った大正ロマンの香り高い館は、日本初の女優と謳われた川上貞奴と電力王と称された福沢桃介が、大正から昭和初期にかけて暮らしていた邸宅を移築・復元したものです。

- ◆名古屋市区榎木町3-23
- ◆TEL/052-936-3836
- ◆入館料/一般200円
- ◆開館時間/10:00~17:00
- ◆URL <https://www.futabakan.jp/>



● 文化のみち榎木館



陶磁器貿易商、井元為三郎によって建てられた館は、都会のけん騒を忘れさせるように静かに佇み、大正末から連なる記憶を今へ伝えていきます。ステンドグラスの色鮮やかな光に満たされた洋館、懐かしい薫りにあふれる和館、四季折々の趣が時を忘れさせる庭園、それら全てが皆様のご来館をお待ちしています。

- ◆名古屋市区榎木町2-18
- ◆TEL/052-939-2850
- ◆入館料/一般200円
- ◆開館時間/10:00~17:00
- ◆URL <https://www.shumokukan.city.nagoya.jp>



● 旧豊田佐助邸



発明王・豊田佐吉の弟で佐吉を支えた実業家の豊田佐助が住んでいた邸宅です。大正時代に建てられた白いタイル張りの洋館と広い間取りの和館で構成されており、鶴亀に「とよだ」の文字をデザインした換気口など、建物へのこだわりをうかがい知ることがができます。



- ◆名古屋市区主税町3-8
- ◆問合せ先/名古屋歴史まちづくり推進室
TEL/052-972-2780
名古屋まちづくり公社
TEL/052-222-2314
- ◆入館料/無料
- ◆開館時間/10:00~15:30
- ◆URL <http://www.city.nagoya.jp/kankobunkakoryu/page/0000011585.html>

※旧豊田佐助邸では景品交換ができませんので、恐れ入りますが他の3館にてお願いします。



● 揚輝荘 聴松閣(南園)



大正から昭和初期にかけて(株)松坂屋の初代社長15代伊藤次郎左衛門祐民によって構築された別荘です。南園に位置する聴松閣は、ハーフティンバーの外壁など山荘風の外観をした迎賓館で、昭和12年に建築されました。地下1階~地上3階の各室は各国様式がミックスされており、地階は全体がインド様式となっています。

- ◆名古屋市区千種区法王町2-5-17
- ◆TEL/052-759-4450
- ◆入館料/一般300円
- 北園は入館料無料です
- ◆開館時間/9:30~16:30
- ◆URL <https://www.yokiso.jp>

※揚輝荘北園には今回のスタンプの設置はありません。



市バス・地下鉄でのお得な利用が便利でお得です。
ドニエコきっぷ・一日乗車券を利用してご来館の方は入館料割引!

文化のみち二葉館・文化のみち榎木館 揚輝荘 聴松閣

一般 200円 ▶ 160円 一般 300円 ▶ 240円

※「ドニエコきっぷ」「一日乗車券」は、ゆとりとライン(高架区間)、名鉄バス、あおなみ線、リニモでは利用できません。

なごや **得ナビ**

ご利用開始後の有効期限内のドニエコきっぷ等
の一日乗車券を提示するだけで、名古屋市内の
施設・飲食店等で割引等の特典が受けられます!
※詳細は地下鉄駅で配布している特典ガイドブック
「なごや得ナビ」をご覧ください。



走り続けて90年。
市バスは まちの元気です。

(管理 ~9/23)